



宮脇教授の **ひとくち** Economy & Finance

日本・世界の経済・財政

北海道大学法学研究科・公共政策大学院

「宮脇淳教授のニュースレター」

国と地方の財政・金融そして公共政策の面から研究。地域に足場を持ちながら今後の制度設計や地域経営のあり方等、国そして各地域の実践的課題に挑戦。

日本経済・実効為替レート

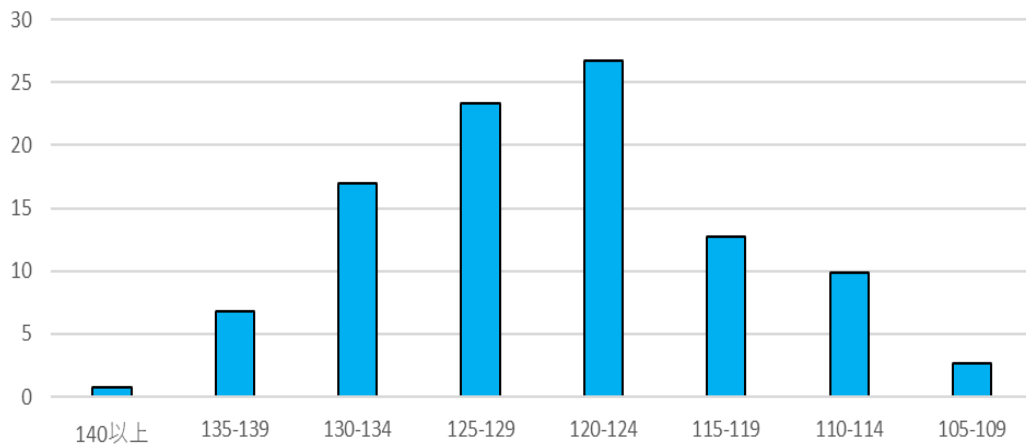
2022/10/03 第 857 号

朝日田コーポレーション

●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp

●ホームページ: <http://www.sapporo-php.co.jp>

2022年度想定為替レート分布(%)



実効為替レート(2010年=100)



(資料)東証プライム企業決算書及び日本銀行為替データより作成。

円相場が140円台後半を睨み始めている。FRBの政策金利引き上げが続く中で対ドルの円安が進んでいる。今後、アジア各国の金利引き上げも想定され、円は全体として厳しい位置づけが続くことが見込まれる。こうした中で、年度下期の日本企業の想定為替レートは、120円前後が平均値であり業種による水準の違いはあるものの、日本企業の円安に対する評価は短期的見方が強い。しかし、従来の国際社会の枠組みが政治も含めて揺らぐ中で、長期的構造要因の変化に留意する必要がある。加えて、為替水準に日米のインフレの格差を加味した実効為替レートを見ると、足元では2000年の約半分となっている。具体的には2000年時点での海外旅行と同水準の旅行を今行おうとすれば2倍の費用が必要となる。これまで円相場が極めて安定的に推移してきただけに、変化に対応力が日本経済社会全体に求められている。